

えりもしゃくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525

<http://www.town.erimo.lg.jp/section/>

[kyouiku/sg6h94000000pqh.html](http://www.town.erimo.lg.jp/section/kyouiku/sg6h94000000pqh.html)

「えりもしゃくなげ」発行 100号になりました

○平成25年（2013年）5月から毎月1回発行の「教育委員会だより」の『えりもしゃくなげ』が100号を迎えました。

○発行の目的は、町民の皆様には学校教育や社会教育の様子をお知らせし、これまで以上に、当町の教育にご理解とご協力を願いたいと考え始めました。ときには、「読んでいますよ」という温かい声をいただきました。

○今後も、町民と結ぶ懸け橋として、教育の様子をお伝えしてまいります。

えりも高校「風極プロジェクト同好会」のメンバーが、ボランティア活動として放課後児童クラブの児童に「読み聞かせ」を行う。高校生ありがとう

○現在、放課後児童クラブ（下校時に保護者が働いていて帰宅しても誰も大人がいない家庭の児童を預かる所）には、本町児童クラブに37名、庶野児童クラブに20名が登録されています。その中で、平日は本町が20名、庶野

が10名程度の児童が通っています。

○毎日の生活は、学校から下校すると、児童は、すぐ宿題など30分程度の家庭学習に取り組みます。どの子もしっかりと机に向かうなど習慣化されています。

○家庭学習を終えた児童は、仲良く工夫した遊びをして過ごします。

○6月30日（水）、えりも高校の風極プロジェクト同好会（13名）の野阪洸介君（3年）はじめ6名がクラブを訪れ、福祉センターで読み聞かせを行ってくれました。

○7月1日と8日にも2回目、3回目が行われ、3年の辻心優さんはじめ7名が出席して開かれました。



2021/06/30 16:38

お兄さんお姉さんの読み聞かせに真剣なまなざし
で耳を傾ける児童

○風極プロジェクトのこのようなボランティア活動は、小学生の心に響く高校生の主体的な素晴らしい活動と言えます。心から感謝し、応援しています。

庶野小児童3・4年生が、フジツボを ガリガリ君でかっちゃき磯掃除体験、 絵日記にしました（環境教育の実践）



谷辻ひなたさんの絵日記



2021/07/08 08:50

～谷辻ひなたさんの感想～

はじめてのいそそうじで、ガリガリ君でフジツボをとりました。やってみて、フジツボをガリガリ君でとることが、とてもむずかしく感じました。バケツで水をくんでゴミを流す時に水をくむのが本当にたいへんでした。たまあーんでっかいフジツボがありました。

フノリはフジツボをとらないと、はえない事が分かりました。思ったことは、フジツボをガリガリ君でとるのがたいへんだということでした。

『チームえりも』で 各学校が動いています



○当町では、全教職員が一つのチームとなって学校改善を推進する学校モデル「学校力向上に関する総合実践事業」を組織し、道教委の指定を昨年度から受けて行っています。
○組織体制では、中核校を「えりも小学校」、指定校を「笛舞小、えりも岬小、庶野小、えりも中」として進めています。
○7月6日には、「地域学校合同会議」が福祉センターで行われ、各学校の校長と教務主任が集まり協議しました。
○特に、取組では「社会に開かれた教育課程」と「働き方改革の実践」、「効果的な専科指導の実践」を行います。
○専科指導では、えりも小学校に配置された教員が、笛舞・えりも岬・庶野小に出向き、図画工作と書写の指導に当たっています。

えりも岬小学校の参観日訪問から

校舎周辺の草刈、環境整備に努めている校務員さん



○春から夏に移る時期は、校舎周辺の芝生や雑草も繁る季節です。
○訪問した際に、校務員さんが環境整備に精を出していた姿に接し、改めて影の力になっていると感じました。
○町内、どこの学校に行っても環境整備がされており、改めて各学校の校務員の皆様や職員、PTA・地域の皆さんに感謝しているところです。

5・6年生の社会の時間 タブレット活用と板書



課題がしっかり提示され、ノートに記入

1年生、人の話をしっかり聞く姿勢が見られます



○1年生の国語の時間です。発表に対してしっかりと人の話に体を向けて聞いている姿を見て、学習規律が身に付き、学ぶ姿勢の成長の一つを見ることができました。
○下の写真は、3・4年生の音楽の時間です。正面には、本時の目標となる「楽譜の五線紙」が張られ、円の形になった机の配置など、学びの環境に工夫がみられました。

3・4年生の音楽の時間、コロナ対策と学びの工夫

